

お茶の水女子大学学报

昭和 58 年 1 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令	1
学内規程	1
人事	2
学事	4
諸報	7
海外渡航	7
昭和57年度秋の叙勲	8
研修	8
健康診断	8
レクリエーション行事	9
レクリエーション用品の貸し出しについて	9
新任者住所	9
職員の住所変更	9
職員の電話番号変更	10
日誌(抄)	10

関係法令

【規 則】

〇人事院規則（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する規則（人事院規則16-3、12月28日官報）

学内規程

〇お茶の水女子大学規則第14号
お茶の水女子大学附属図書館長候補者選考規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和57年11月24日

お茶の水女子大学長 藤 卷 正 生

お茶の水女子大学附属図書館長候補者選考

規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学附属図書館長候補者選考規程の一

部を次のように改正する。

第12条中「各学部長」を「各学部教授各1人」に改める。

附 則

この規程は、昭和57年11月24日から施行する。

〇お茶の水女子大学規則第15号

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規を次のように定める。

昭和57年12月2日

お茶の水女子大学長 藤 卷 正 生

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部

を改正する内規

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を次のように改正する。

第2条の表沿革のうち保井・黒田奨学基金の項第1号中「教授保井コノ氏黒田チカ氏退官」を「名誉教授保井コノ氏黒田チカ氏教授退官」に、同項第2号中「教授」を「学長」に改め、被服学奨学基金の項第2号中「教授」を「元教授」に、同項第5号中「元教授柳沢澄子氏が退官」を「名誉教授柳沢澄子氏が教授退官」に改め、食物学奨学基金の項第2号中「教授」を「元教授」に、同項第3号中「教授」を「名誉教授」に、同項第5号中「元教授稲垣長典氏が退官」を「名誉教授稲垣長典氏が教授退官」に改め、稲垣・柳沢・山西奨学基金の項第1号中「元教授稲垣長典氏が退官」を「名誉教授稲垣長典氏が教授退官」に、同項第2号中「元教授柳沢澄子氏が退官」を「名誉教授柳沢澄子氏が教授退官」に改める。

附 則

この内規は、昭和57年12月2日から施行する。

〇お茶の水女子大学規則第16号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和57年12月15日

お茶の水女子大学長 藤 卷 正 生

お茶の水女子大学学則の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学則の一部を次のように改正する。

別表（第13条関係）中文教育学部の項を次のように改める。

文教育学部	哲学科	中学校教諭1級普通免許状	社会	
	史学科		社会	
	地理学科		社会・理科	
	国文学科	国語		
	外国文学科	中国文学・中国語学	高等学校教諭2級普通免許状	中国語
		英文学・英語学		英語
		仏文学・仏語学		フランス語
教育学科	小学校教諭1級普通免許状 幼稚園教諭1級普通免許状		社会	
舞踊教育学科	舞踊教育学	中学校教諭1級普通免許状	保健体育・保健	
	音楽教育学	高等学校教諭2級普通免許状	音楽	

附 則

この規則は、昭和57年12月15日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

○お茶の水女子大学規則第17号

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和57年12月15日

お茶の水女子大学長 藤 巻 正 生

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学部履修規程の一部を次のように改正する。

別表1（第12条関係）文教育学部の項中

教育学科	教育学専攻	を
	表現体育学専攻	
	音楽教育学専攻	

教育学科	
舞踊学教科	舞踊教育学 音楽教育学

に改める。

別表2（第13条関係）授業科目のうち専門科目の部文教育学部の項中

教育学科 教育学専攻	教育学科
第1講座 教育学・教育史	第1講座 教育学・教育史
第2講座 教育心理学	第2講座 教育社会学・教育行政
第3講座 発達心理学	第3講座 教育課程・教育方法
第4講座 視聴覚教育	第4講座 社会教育学

- 第5講座 教育社会学
- 第5講座 教育心理学
- ・教育行政
- 第6講座 教育課程・教育方法
- 第6講座 発達心理学
- 第7講座 社会教育学
- 第7講座 視聴覚教育

に、「教育学科 表現体育学専攻」を「舞踊教育学科 舞踊教育学」に、「教育学科 音楽教育学専攻」を「舞踊教育学科 音楽教育学」に改める。

附 則

この規程は、昭和57年12月15日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

人 事

◎人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(転 任)			
57.11.1	郵政事務官 (東京中央郵便局普通郵便部第二普通郵便課)	松下 雅彦	文部事務官(家政学部)に転任させる
(事務代理)			
57.12.5	文部教官 (教授 理学部)	太田 次郎	お茶の水女子大学長事務代理を命ずる
57.12.13	〃	〃	お茶の水女子大学長事務代理を免ずる
(休 職)			
57.9.26	文部教官 (助手 理学部)	秋山 文子	休職の期間を昭和58年1月15日まで更新する
57.12.16	〃	谷口真知子	休職にする 休職の期間は昭和58年6月5日までとする

◎学内委員

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
57.10.21	教 授	中内 敏夫	入学者選抜方法研究委員会委員を命ずる 任期は昭和58年3月31日までとする
〃	助 教 授	藤原 正彦	〃
〃	教 授	小林 彰夫	〃
〃	〃	式 正英	入学者選抜方法研究委員会委員を命ずる 任期は昭和59年3月31日までとする
〃	助 教 授	細矢 治夫	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.10.21	助教授	富田 守	入学者選抜方法研究委員会委員を命ずる 任期は昭和59年3月31日までとする
57.11.16	教授	頼 惟勤	入学試験委員会委員を命ずる 任期は昭和58年1月31日までとする
◇	教 頭	板井 孝行	◇
◇	教 授	荒木 忠雄	◇
◇	教 頭	曾我部泰三郎	◇
◇	教 授	根本 茂	◇
◇	教 頭	福田 静子	◇

◎非常勤講師

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
57.12.1		茅 幸二	講師(理学部)に採用する 任期は昭和57年12月31日までとする
◇		山形 達也	講師(理学部)に採用する 任期は昭和58年1月31日までとする
◇		高野 利也	◇
(併任)			
57.11.1	通商産業技官 (工業技術院電子技術総合研究所)	田中 穂積	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和57年12月31日までとする
57.11.16	文部教官 (電気通信大学教授)	大橋 守	◇
57.12.16	文部教官 (筑波大学助教授)	高木 亮一	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年2月28日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
57.12.16	文部教官 (東京大学助教授)	平川 晓子	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年1月31日までとする

◎非常勤職員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
57.11.1		森脇真理子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
57.11.16		西川 紀子	事務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
◇		守永 美香	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
◇		猪狩 初代	◇
◇		半沢美智子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
57.12.1		村木 浩子	◇
57.12.16		木村しづ子	臨時用務員(理学部)に採用する 任期は昭和58年3月31日までとする
(辞職)			
57.11.15	事務補佐員 (家政学部)	長谷川紀子	辞職を承認する
◇	教務補佐員 (家政学部)	田辺 洋子	◇
57.11.27	◇	岡野 教子	◇
57.12.31	◇	半沢美智子	◇
◇	事務補佐員 (附属図書館)	田中美江子	◇

学 事

○昭和58年度 お茶の水女子大学学生募集要項

1. 学科別募集人員

文教教育学部	哲学科	史学科	地理学科	国文学科	外国文学科			教育学科		舞踊教育学科		計
					中国文学 中国語学	英文学 英語学	仏文学 仏語学	教育学	心理学	舞踊教育学	音楽教育学	
	20	20	20	30	11	33	6	20	15	15	12	202
理学部	数学科		物理学科		化学科		生物学科		計			
	20		20		20		25		85			
家政学部	児童学科		食物学科		被服学科		家庭経営学科		計			
	35		32		30		28		125			

2. 出願資格 下記に該当する女子とする。

次の各号のいずれかに該当し、かつ昭和58年度共通第1次学力試験を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和58年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和58年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び昭和58年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

1. 出願カード 本学所定のもの。
2. 昭和58年度共通第1次試験成績請求票（国公私立大学用） 出願カードに貼付すること。
3. 調査書 出身学校長が作成し厳封したもの。
大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書（文部省発行）を提出する。
4. 健康診断書 昭和57年3月高等学校卒業業者及び昭和58年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。ただし、上記以外の者は「視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書（様式は特に定めない。）を提出する。
5. 検定料9,000円 「郵便為替」とし受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。
6. 受験許可書 他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出する（様式は特に定めない）。
7. 受験票返送用封筒 60円切手貼付の封筒（23.5cm×12cm）に受信先を明記したもの。

(2) 出願方法

1. 出願書類等の提出は郵送に限る。必ず書留速達にすること。
2. 出願書類等の郵送は、志望学部の事務部あてとし、本学所定の封筒を用い、1封筒1願書に限る。封筒下欄の志願者欄に、住所、氏名、志望学科及び専攻名等を明記すること。
なお、家政学部児童学科・被服学科にあっては、A・Bのいずれか記入すること。

注 本学では出願書類を受理すると「受験票」と「受験者心得」を直ちに返送しているので、願書発送後10日間たっても未着のときは志望学部の事務部に問い合わせること。

4. 出願期間

昭和58年2月9日(水)～2月15日(火) 締切日までの消印があれば有効

5. 第2次学力検査日時割

学部等 学科		日 時	3月4日(金)		3月5日(土)
文 教 育 学 部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学) (英文学・英語学) (仏文学・仏語学) 教 育 学 科 (教 育 学 学) (心 理 学 学)	国 語	10:00～11:40	外 国 語 13:10～14:50	実 技 (第一志望、第二 志望とも) 10:00～
	舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学 学) (音 楽 教 育 学 学)				
理 学 部	数 学 科	数 学 I・II B 10:00～11:40	数 学 III・外 国 語 13:10～15:40		
	物 理 学 科		物 理・数 学 III 13:10～15:40		
	化 学 科		化 学・選 択 (物 理・生 物) 13:10～15:40		
	生 物 学 科		生 物・選 択 (物 理・化 学) 13:10～15:40		
家 政 学 部	児 童 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	A	選 択 語 [国 語] 数 学 I・II B 10:00～11:40	外 国 語 13:10～14:50	小 論 文 15:20～17:00 [児 童 学 科 志 望 者] (第一志望、第 二志望とも)
	児 童 学 科 食 物 学 科 被 服 学 科	B	数 学 I・II B 10:00～11:40	選 択 科 [理 学] 外 国 語 13:10～14:50	

6. 検査場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

7. 合格発表及び入学手続等

- (1) 合格決定 学力検査(共通第1次学力試験・第2次学力検査)・調査書並びに健康診断書を総合して判定する。
- (2) 合格発表 3月17日(木)の午後。学内本部棟前に掲示するとともに合格通知書及び入学、入寮の関係書類を送付する。
- (3) 入学手続 4月4日(月)と5日(火)の2日間。
この間に手続をしない者は、入学を辞退したものとみなす。

8. 注意事項

受験関係の問い合わせは志望学部の事務部あてとし、必ず、往復はがきによるか、又は返信用封筒(切手貼付)を同封し、返信先を明記すること。

○昭和58年度お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科学生募集要項

1. 専攻名及び募集人員

比較文化学専攻 16名
 人間発達学専攻 10名
 人間環境学専攻 9名

2. 修業年限 3年

3. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 修士の学位を有する者（昭和58年3月修士の学位を得る見込みの者を含む）
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付する。
- (2) 修士課程修了（見込）証明書
- (3) 修士論文要旨 1部、内容・形式は 7. 第二次試験手続(2)を参照のこと。
- (4) 調査書 出身大学長又は研究科の長が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (5) 健康診断書 公的医療機関で作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (6) 受験許可書 在職中の者は所属長の、他の大学院に在学中の者は当該大学長の許可書とする。

上記書類を一括し、入学検定料14,000円を添え出願期間内に本学に提出すること。やむを得ず郵送する場合は、検定料を郵便為替（受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記すること）とし、同封の上、出願期間内（締切日の消印有効）に到着するよう書留郵便で送付すること。その場合、封筒に「人間文化研究科願書在中」と朱書きし、返信用封筒（あて先を明記し、310円切手貼付）を同封すること。

5. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出願期間 昭和58年1月17日（月）から1月27日（木）まで。
日曜日を除き、午前9時から午後3時まで。ただし、土曜日は午前11時30分まで。
- (2) 願書受付場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟1階事務室
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

6. 第一次試験

- (1) 選考期日 昭和58年2月3日（木）
- (2) 試験内容 筆答試験（論文・言語）
- (3) 時間割

専攻名	2月3日（木）	
	10:00~12:00	13:00~15:00
比較文化学専攻	論 文	言 語
人間発達学専攻		（英語・ドイツ語・フランス語・ 中国語・日本古典語の中から2科目を選択すること）
人間環境学専攻		

- 注. イ) 上記言語の選択科目については、出願の際届け出るものとする。
- ロ) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語については、辞書の使用を認める。
- ハ) 日本古典語は、古文・日本漢文・古文書とし、3種目の中から2種目を試験場で選択すること。

- (4) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟
 (5) 第一次合格発表 昭和58年2月7日(月)人間文化研究科棟1階掲示板に掲示する。

7. 第二次試験手続

第一次試験合格者は、2月8日(火)午後5時までに、人間文化研究科棟1階事務室に次の書類を提出すること。

- (1) 修士論文 1部 ただし、修士論文提出後の研究により修士論文を補足する研究成果のある場合には、その論文を添付することができる。また、修士論文以外に別主題について発表した論文があり、その論文を主論文とすることを希望するときは、その旨を明記し、1部添付すること。なお、修士論文をもたない場合は、これにかわるもの1部。
 (2) 上記論文(主論文)の要旨 2,000字以内、横書き、B4版用紙2枚(図表を含む)におさめ、コピー10部
 (3) 研究計画書 1,000字前後、横書き、B4版用紙1枚におさめ、コピー10部

8. 第二次試験

- (1) 選考期日 昭和58年3月1日(火)、2日(水)の2日間
 (2) 試験内容 口述試験(主論文及び研究計画)
 (3) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟

9. 合格者発表

合格者には、昭和58年3月8日(火)午前本人に通知するとともに、人間文化研究科棟1階掲示板にその氏名を掲示する。

10. 入学料及び授業料

- 入 学 料 100,000円
 授業料(年額) 216,000円(前期 108,000円、後期 108,000円)

11. 注 意 事 項

- (1) 同一年度に2専攻に出願することはできない。
 (2) 出願手続後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払いもどしの要求には応じない。
 (3) 出願について、不明のことがある場合は、大学院係に問い合わせられたい。
 (4) 合格・不合格に関する郵便・電信・電話等による問い合わせには一切応じない。

諸 報

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	アメリカ合衆国 カナダ	学会出席及び講演	57.11.8～ 57.11.20	研 修
文教育学部 教 授	中 川 信	イタリア共和国 フランス共和国 アメリカ合衆国	昭和57年度在外研究員として18世紀啓蒙思想と文学の研究	57.9.27～ 57.11.26	出 張
文教育学部 教 授	平 野 孝	大韓民国	第17回国際アメリカ研究セミナーに参加するため	57.11.25～ 57.11.30	研 修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
学長	藤巻正生	フィリピン	ケムロンII化学と世界の食糧供給に関する国際会議出席のため	57.12.5～ 57.12.12	出張
生活環境研究センター教授	五十嵐脩	フィリピン	熱帯性根茎類の貯蔵と利用に関する研究調査に参加のため	57.12.2～ 57.12.21	〃
理学部教授	伊藤厚子	ドイツ連邦共和国 デンマーク王国 オランダ王国 フランス共和国	セミナー「金属中における共鳴」参加と講演	57.11.28～ 57.12.23	研修

○昭和57年秋の叙勲

昭和57年11月3日の秋の生存者叙勲で、本学名誉教授亀谷俊司氏が勲二等瑞宝章を、また、本学名誉教授江湖山恒明氏が勲三等旭日中綬章を受章された。

○研修

名称	実施期日	対象者	修了者	主催
行政管理セミナー（第3回電子計算機入門コース）	57年 11月15日 } 11月19日	電子計算機に関する基礎的知識の修得を希望する者で、原則として行(→)5等級以下の者	会計課 佐々木信一	行政管理庁 行政管理局
第31回関東地区中堅係員研修	57年 12月7日 } 12月16日	国家公務員採用初級試験により採用され、採用後おおむね8年の経験を有する者及び国家公務員採用中級試験により採用され、採用後おおむね5年の経験を有する者で年令30歳未満の者	施設課 浅田 常明	人事院関東 事務局
昭和57年度第2回事務電算化研修	57年 12月13日 } 12月16日	コンピュータ入門コース修了者のうちで、所属課長、主幹、事務長の推薦により選考する（定員5名）	会計課 加藤 久雄 〃 田沼 行文 附属図書館 進藤 晶美 文教育学部 丹藤 勝次 家政学部 岩田 光夫	お茶の水女子大学

○健康診断

事項	実施期日	対象者	受診者数	実施場所
昭和57年度胃の検査	57年 11月17日 } 11月18日	満40歳以上の職員及び希望者ただし、昭和57年度人間ドックの受診者を除く。	歳40歳以上 59人 希望者 6 計 65	保健管理センター前 集団検診車（東京中央放射線診療所所有）
昭和57年度遠隔地勤務者健康診断	57年 12月1日 （長野） 12月8日 （千葉）	志賀高原体育運動場勤務者 理学部附属臨海実験所勤務者 館山野外教育施設勤務者	内科診察 6 胸部レントゲン検査（間接撮影） 5 （直接撮影） 1 血圧測定 6 尿検査 6	中野保健所 館山保健所
昭和57年度第2回一般定期健康診断	57年 12月8日	第1回の一般定期健康診断を受診できなかった者	内科診察 12 胸部レントゲン検査（間接撮影） 18 （直接撮影） 10 血圧測定 19 尿検査 17	保健管理センター

〇レクリエーション行事

行 事 名	実施期日	参加者数	入 賞 者 (子 - ム) 等	実施場所
昭和57年度教職員ソフトボール大会	57年 11月13日	71人	優勝 庶務課、施設課、学生部、保健管理センター、人間文化研究科 2位 文教育学部、理学部、家政学部、生活環境研究センター 3位 各附属学校、附属学校部 4位 会計課、附属図書館、女性文化資料館	本学グラウンド
昭和57年度教職員卓球大会	57年 12月11日	38	優勝 学部A 2位 附属A 3位 附属図書館 4位 本部 5位 学部B 6位 附属B	大学体育館

〇レクリエーション用品の貸し出しについて

個々の教職員レクリエーションの一助としてすでに学報第81号及び85号をもって物品の貸し出し並びに使用を行なっている旨掲載しましたがこのたび新たに次の物品を加えましたので御利用ください。

バックギャモン、麻雀卓、ビデオ装置、教職員家族運動会8ミリフィルム及びビデオテープ。

なお、同物品とあわせて別記物品の貸し出し並びに使用を行ないますので御利用ください。貸し出し御希望の方は庶務課職員係（内線210）へお申込みください。

（注）多くの方に利用していただくため、長期の使用は御遠慮願います。

記

品 名	数 量
1. ソフトボール用具一式 （グローブ、ミット、バット、ベース、マスク、ボール、ネット等）	2 組
2. 軟式庭球用ラケット（カワサキ）	2 本
3. 硬式庭球用ラケット（カワサキ）	2 本
4. つり竿（磯づり用）（オリンピック） リール付	1 本
5. つり竿（舟づり用）（オリンピック） リール付	1 本
6. ゴルフ（ハーフセット）	1 組
7. アイススケート靴（ハーフスピード用）SSS黒 サイズ（24.5、25、25.5、25.5、26）	5 足
8. アイススケート靴（フィギア用） SSS白 サイズ（24、24.5、25、25.5）	4 足
9. カラオケセット一式（ソニー） （本体、ワイヤレスマイク、エコーマイク、テープ（63本）、キャリングケース、カセットテープ用ケース（15本入、36本入）	2 組

品 名	数 量
10. バトミントンラケット	18 本
11. コンピュータオセロ（ツクダオリジナル）	1 台
12. オセロ（ツクダオリジナル）	1 台
13. チェス（ヴァチカン）	1 台
14. バックギャモン	1 台
15. 麻雀卓（特製座卓及び椅子卓兼用）	
16. 麻雀パイ	1 組
17. ビデオ装置（ビクター）※ただし、 学外持出禁止 （カメラ、コーダー、ACパワーアダプター、チューナー、三脚、ドリル、バッテリー2本、ミニライティングキット）	1 組
18. 教職員家族運動会8ミリフィルム （昭和53～57年度）	各1本
19. 教職員家族運動会ビデオテープ （昭和57年度）	1 本

〇新任者住所

〇職員の仕事変更

○職員電話番号変更

日誌(抄)

11月5日(金) 徽音祭前夜祭
 6日(土) } 徽音祭
 7日(日) }
 8日(月) 附属図書館運営委員会、第27回東京地区国公立大学入学主幹・入試担当課長会議(於東京大学)
 9日(火) 留学生顧問教官会議、一般教育委員会、附属学校長選考委員会
 10日(水) 大学院人間文化研究科会議、奨学金合同審査委員会、教務委員会
 11日(木) 一般教育委員会、関東甲信越地区国立大学事務局局長会議(11日・12日:於川治)、国立大学保健管理センター所長会議(於如水会館)
 12日(金) 入学者選抜方法研究委員会
 13日(土) 第29回東京地区国公立大学連合文化会(美術部門)第4回学生委員分科会、本学対奈良女子大学バレーボール定期戦(於奈良女子大学)、昭和57年度教職員ソフトボール大会(本学グラウンド)
 15日(月) 行政管理セミナー(第3回電子計算機入門コース)(15日~19日:於行政管理庁)
 16日(火) 部局長会議、教務委員会、日本育英会奨学金選考委員会
 17日(水) 各学部研究科委員会、各学部教授会、昭和57年度教職員胃の検査(17日・18日)、第71回国立大学協会総会(17日・18日:於学士会館)

18日(木) 一般教育委員会
 19日(金) 第38回国立大学協会事務連絡会議(於学士会館)
 22日(月) 部局長会議、施設計画委員会
 24日(水) 評議会、永年勤続者表彰式、学生委員会、学寮委員会、学寮協議会、附属学校長選考委員会
 25日(木) 日本育英会奨学金返還に関する説明会、昭和58年度大学入学者選抜共通第1次学力試験実施担当者(25日・26日:於東京医科歯科大学)
 26日(金) 奨学金授与式
 29日(月) 事務連絡会議、創立記念日
 30日(火) 部局長会議、入試委員会、生活環境研究センター運営委員会、附属学校教育研究委員会
 12月1日(水) 教務委員会、文教育学部臨時教授会、女子大学問題委員会、昭和57年度遠隔地勤務者健康診断(1日・8日)
 2日(木) 公開講座委員会
 4日(土) 第30回東京地区国公立大学体育大会実行委員会(於東京学芸大学)、昭和57年度厚生補導関係教職員研究会(4日・5日:於箱根静雲荘)
 7日(火) 一般教育委員会、第31回関東地区中堅係員研修(7日~16日:於人事院関東事務局)
 8日(水) 附属図書館長候補者選挙、研究科委員会(理学・家政学)、各学部教授会、昭和57年度第2回一般定期健康診断
 9日(木) 一般教育委員会時間割編成小委員会
 11日(土) 昭和57年度教職員卓球大会(於本学体育館)
 13日(月) 昭和57年度第2回事務電算化研修(13日~16日:於沖電気株式会社)
 14日(火) 部局長会議、学生委員会、学寮委員会、学寮協議会
 15日(水) 評議会、定例学生大会
 17日(金) 事務連絡会議
 19日(日) 第29回東京地区国公立大学連合文化会美術展(19日~23日:於上野の森美術館)
 21日(火) 教育実習専門委員会
 23日(木) 留学生顧問教官会議
 24日(金) 入学者選抜方法研究委員会小委員

	会
25日(土)	冬期休業始
28日(火)	御用納め